



JAPAN
BASEBALL
PROMOTION
ASSOCIATION

2015年度 日本プロ野球OBクラブ杯 第4回 岩手県中学生野球大会

【開催報告書】



2015 年度 日本プロ野球OBクラブ杯
第 4 回 岩手県中学生野球大会
開催概要

- 1 名 称 日本プロ野球 OB クラブ杯 岩手県中学生野球大会
- 2 趣 旨 現代の社会において、青少年の心身の発育にスポーツの果たす役割は大きい。また、指導者不足による中学部活動の減退が危惧される中、中学生を対象とした大会を主催することにより、中学部活動の活性化と青少年の健全育成に寄与することを目指す。本大会を当会会員が務める各都道府県の代表幹事が取りまとめ、中学校野球部との連携を図ることによりアマチュア野球との交流が生まれる。代表幹事を中心とした在住 OB と中学生並びに地域住民とのコミュニケーションにより、地域活性化への寄与も目指す。
- 3 主 催 公益社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）
- 4 後 援 公益財団法人日本中学校体育連盟、帝京大学
奥州市教育委員会、岩手日報、岩手日日新聞社、胆江日日新聞社、水沢ケーブルテレビ
- 5 協 力 奥州市野球協会、岩手県中学生野球指導者連盟
- 6 協 賛 及川スポーツ、いのうえスポーツ、サンエススポーツ
- 7 日 程 4月26日（日）、29日（水：昭和の日） 予備日：5月2日（土）
※26日（日）：トーナメント1・2回戦（各4会場）、
交流試合（江刺第一中学校・江刺東中学校・水沢中学校・東水沢中学校）
※29日（水）：準決勝・決勝・閉会式（中央運動公園）
交流試合（根岸野球場・江刺第一中学校・小山中学校・東水沢中学校・水沢南中学校）
- 8 会 場
 - (1) トーナメント会場

江刺中央運動公園野球場	奥州市江刺区岩谷堂字松長根 電話 0197-31-2100（江刺中央体育館）
根岸野球場	奥州市江刺区岩谷堂字御所橋111 電話 0197-31-2100（江刺中央体育館）
水沢公園野球場	奥州市水沢区中上野町1-85 電話 0197-23-3841（水沢体育館）
サンスポーツランド水沢	奥州市水沢区真城字中崎235 電話 0197-23-3841（奥州市教育委員会）
 - (2) 交流試合会場
 - ①両日

江刺第一中学校	奥州市江刺区岩谷堂字小境1 電話 0197-35-1917
東水沢中学校	奥州市水沢区佐倉河字瀬ノ上2-5 電話 0197-24-2165
 - ②1日目のみ

江刺東中学校	奥州市江刺区玉里字後沢76-1 電話 0197-36-2123
--------	------------------------------------

水沢中学校

奥州市水沢区字南丑沢 10-1

電話 0197-24-4651

③2日目のみ

根岸野球場

奥州市江刺区岩谷堂字御所橋 111

電話 0197-31-2100 (江刺中央体育館)

小山中学校

奥州市胆沢区小山字道場 66

電話 0197-47-0324

水沢南中学校

奥州市水沢区真城字大檀 39-1

電話 0197-24-7406

9 参加校 ○トーナメント15チーム

胆江地区4校

前年度優勝校、県軟式野球専門委員長所属校 (滝沢南中学校)

岩手県内各地区専門委員長推薦校

(気仙地区2校、和賀地区1校、一関地区1校、遠野地区1校、釜石・大槌地区 (参加不可能)、紫波地区1校、岩手地区1校、二戸地区1校、宮城県北部2校)

○交流試合のみ参加 胆江地区7校

10 出場資格

- (1) 公益財団法人日本中学校体育連盟に所属する岩手県の軟式野球部で活動している者。
※ただし、本年度に限り宮城県内の中学校2校の出場あり
- (2) 参加チームは学校長に本大会に出場することの承認を得た上で、参加表明書を江刺東中：高橋まで、3月20日(金)までにFAX送信し、さらに原本を4月13日(月)までに、参加アンケートとともに郵送すること。
- (3) 試合前のメンバー表に記入した選手をその試合の登録選手とする。当日試合に出場する選手はユニホームに背番号(1～20番)を着けること。

11 規 則 2015年公認野球規則および大会特別規則による。

12 使用球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球(B号)

13 参加費 無料 (試合球3個、ロジン1個は各校持ちより)

14 競技方法

- (1) 初日、4球場でトーナメント1・2回戦を行う。1回戦敗退チームは会場を移動(江刺第一中学校・江刺東中学校・水沢中学校・東水沢中学校)し、交流試合を行う。また、初日の交流試合の辞退は認めない。
2日目、江刺中央運動公園野球場を使用して準決勝・決勝のトーナメントを行う。前日敗退した12チームはそれぞれ5会場(江刺第一中学校・東水沢中学校・水沢南中学校・小山中学校・根岸球場)にて交流試合を実施する。なお、2日目の交流試合の組み合わせ、日程については、初日の競技終了後、担当より各チームに連絡する。
- (2) 全試合7回戦とする。トーナメント戦では、7回が終わっても勝敗が決しない場合は、特別延長戦を行う(中体連ルールで勝敗が決するまで)。交流試合は引き分けとする。
- (3) 荒天で試合続行不可能と審判が判断した場合には、その時点でコールドゲームを適用する。
- (4) 提出するメンバー表は4通とする(相手チーム、審判、報道、アナウンス用として)。
- (5) 参加チームは、試合の際補助員2名(ボールボーイ、父母も可)を出すこと。出せないチームは本部および相手チームに、オーダー交換の際に相談すること。
- (6) グランド整備は試合をしたチーム同士で協力して行うこと。
- (7) (1)～(6)以外については、岩手県中体連県大会運営要項・特別競技規則に準ずる。

15 組み合わせ 別紙参照

16 表 彰 優勝チームに優勝旗・優勝トロフィー・賞状
準優勝チームに準優勝トロフィー・賞状、3位チームに賞状を授与する。

17 参 加 賞 公益社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）より、全チームに記念品（サインボール）を贈呈

18 審 判 員 1日目の各球場の主審、および2日目の準決勝・決勝の審判（塁審含む）は、奥州市野球協会より派遣される審判員が行う。1日目の各球場の塁審および交流試合の塁審は、各チームの帯同審判で協力して行う。

19 傷 害 大会中の事故（病気）は大会本部で応急処置を施すが、選手個人は必ず傷害保険に加入しておくこと。

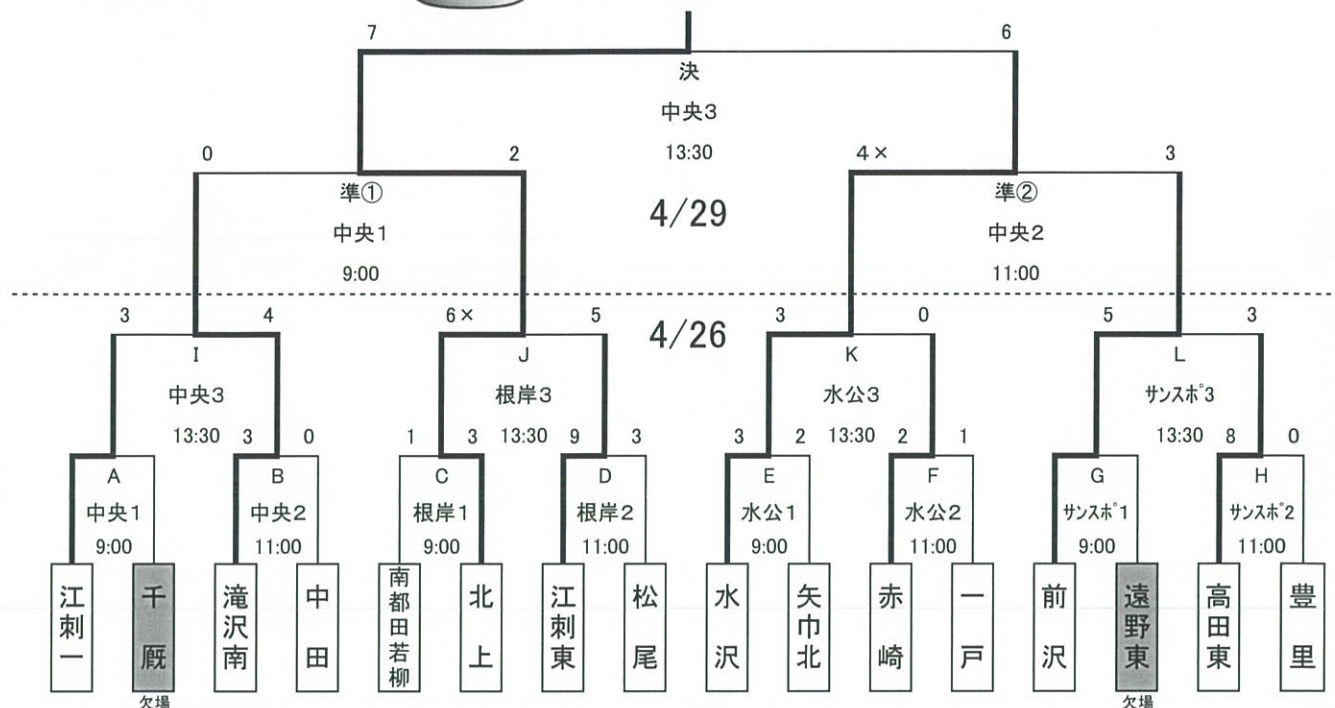
20 野球教室 開催予定なし

21 そ の 他 宿泊・昼食の斡旋は一切行わない。

大会結果

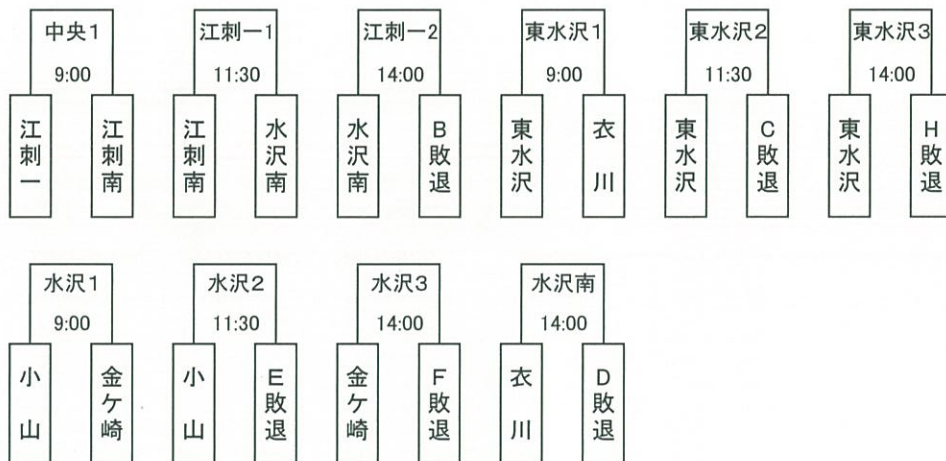


優勝: 北上中学校



胆江(5)・北上(1)・一関(1)・遠野(1)・気仙(2)・紫波(1)・岩手(1)・二戸(1)・宮城県北(2)・前年度優勝(滝沢南)

交流試合(1)4月26日(日)



交流試合(2)4月29日(水)

会場: 小山中

	小山	Cの敗者	Hの敗者	Iの敗者
小山		①	③	
Cの敗者	①			④
Hの敗者	③			②
Iの敗者		④	②	

会場: 東水沢中

	東水沢	Dの敗者	Eの敗者	Lの敗者
東水沢		①	③	
Dの敗者	①			④
Eの敗者	③			②
Lの敗者		④	②	

会場: 水沢南中

	水沢南	Fの敗者	Kの敗者
水沢南		①	③
Fの敗者	①		②
Kの敗者	③	②	

会場: 根岸球場

	金ヶ崎	Bの敗者	Jの敗者
金ヶ崎		①	③
Bの敗者	①		②
Jの敗者	③	②	

○1日目に敗退した10校と、胆江地区4校を加えた14校で、上記会場において交流試合を行う。

試合時間 3校 ① 9:00~10:30 ② 11:00~12:30 ③ 13:15~14:45

4校 ① 8:30~10:00 ② 10:15~11:45 ③ 12:15~13:45

④ 14:00~15:30

○初日に対戦した学校同士が2日目も対戦することを避けるため、一部変更することもある。また、2日目について、敗戦校が遠方である場合などを考慮して、1日目終了後にメールにて2日目の試合順等の変更をお知らせする。

第2日目

江刺中央運動公園野球場

第1試合 準決勝

学校名	1	2	3	4	5	6	7		合計
北上中	1	0	0	1	0	0	0		2
滝沢南中	0	0	0	0	0	0	0		0

バッテリー 先攻 投) 菊池(大) 捕) 石井
後攻 投) 中川、滝川 捕) 吉田

長打 二塁打 早川(北)
三塁打 中村(滝)

第2試合 準決勝

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
前沢中	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
水沢中	0	0	0	0	0	0	0	3	1×	4×

バッテリー 先攻 投) 三浦 捕) 千葉
後攻 投) 佐々木 捕) 佐藤

長打 二塁打
三塁打

第3試合 決勝

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
北上	2	0	0	0	0	1	0	4	7
水沢	2	0	0	0	0	1	0	3	6

バッテリー 先攻 投) 今井、菊池(大) 捕) 石井
後攻 投) 小野寺、千葉(琉) 捕) 佐藤、小笠原

長打 二塁打 石井(北) 本塁打
三塁打 高橋悠(北)、及川智(水) 芳賀(水)

優勝：北上市立北上中学校

準優勝：奥州市立水沢中学校

**第3位：滝沢市立滝沢南中学校
奥州市立前沢中学校**

'15.4.23

日本プロ野球OBクラブ杯・県中学生野球大会

26日から熱戦開始

14チームがトーナメント戦

全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）主催の「第4回県中学生野球大会」は、26、29日の2日間、江刺中央運動公園野球場を主会場に開かれる。胆江勢を含む14チームが出場し、トーナメントで

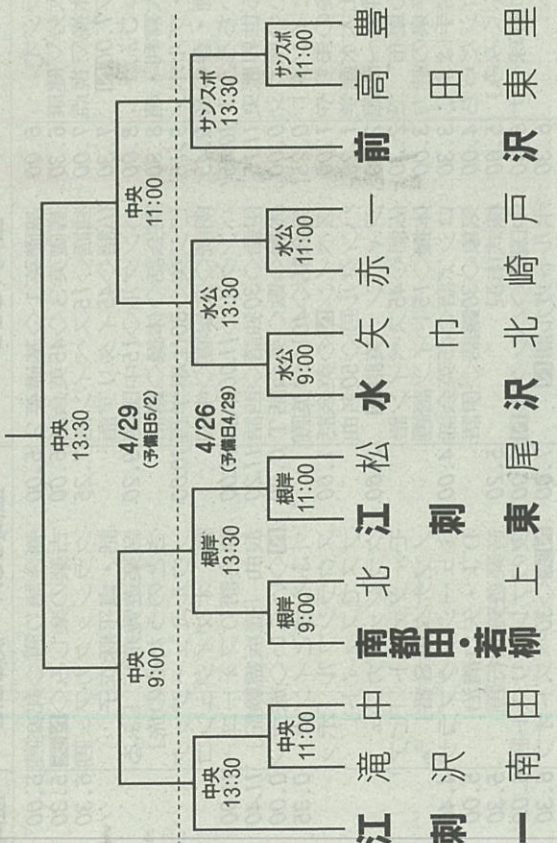
優勝を争う。大会は中学野球の振興を目的に12年から開催。県内外の認知度も年々広がっており、今回は宮城県から中田、豊里の2チームが出場する。大会初日の26日は、

市内4球場で1回戦、準々決勝を実施。29日に江刺中央運動公園野球場で準決勝、決勝を行う。期間中は多くの交流試合を予定している。胆江勢と強豪チームとの対決も楽しみの一。前回は決勝で滝沢南

と赤崎が激戦。延長8回にもつれる接戦の末、滝沢南が赤崎を6-5で振り切り、初優勝に輝いた。胆江勢では準決勝に駒を進めた江刺東が3位に入った。

日本プロ野球OBクラブ杯 第4回県中学生野球大会

会場：◎中央（江刺中央運動公園野球場） ◎根岸（根岸野球場）
◎サンスポ（サンスポーツランド水沢） ◎水公（水沢公園）



市内4球場で熱戦

プロOB杯中学生野球

水沢、前沢など4強

日本プロ野球OBクラブ杯県中学生野球大会のトーナメント1、2回戦は26日、江刺区の江刺中央運動公園野球場や水沢区の水沢公園野球場など市内4球場で繰り広げられた。準決勝、決勝は29日に行われる。胆江勢は水沢、前沢がベスト4に進出し、準決勝で対戦する。

主催し、12(平成24)年度から開催している。県内の中学校12チーム

と宮城県の中田、豊里が出席した。胆江地区からは、江刺一、南都

田・若柳連合チーム、江刺東、水沢、前沢がエントリーした。

県内外の中学生が熱戦を繰り広げた日本プロ野球OBクラブ杯県中学生野球大会「水沢・矢巾北



このうち、水沢公園野球場で行われた1回戦第1試合は、地元水沢が矢巾北と対戦。後攻の水沢は、1点を先制されるも、すぐさま同点にし、さらに追加点で逆転。7回には撲殺プレーのミスから再び同点に持ち込まれるも、直後の攻撃でサヨナラ勝ちを収めた。

スタンドに詰めつけた保護者らが熱のこもった声援を送り、選手たちを後押しした。

29日の準決勝は、江刺区の江刺中央運動公園野球場で、滝沢南―北上(午前9時)、水沢―前沢(同11時)。決勝は午後1時半に予定している。

26日の結果は次の通り。

【江刺中央運動公園野球場】

江刺一―千厩(江刺一の不戦勝)

滝沢南3―0中田

滝沢南4―3江刺一

【根岸野球場】

北上3―1南都田

若柳

江刺東9―3松尾

【サンスポーツランド水沢】

前沢―遠野東(前沢の不戦勝)

【水沢公園野球場】

高田東8―0豊里

水沢3―2矢巾北

前沢5―3高田東(特別延長)

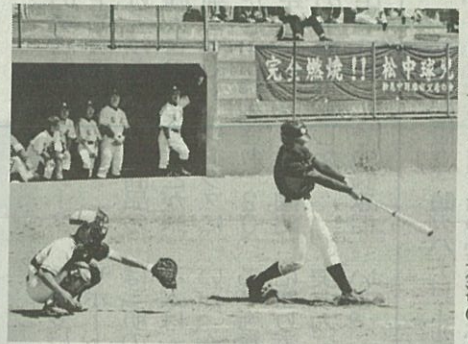
赤崎2―1一戸

水沢3―0赤崎

水沢、前沢 準決勝へ

プロOBクラブ
中学生野球

全国野球振興会主催の日本プロ野球OBクラブ杯第4回県中学生野球大会は26日、奥州市江刺区岩谷堂の江刺中央運動公園野球場など4球場で開幕した。欠場2チームを除く14チームが出場し、頂点を目指してトーナメント戦を繰り広げている。初日は1、2回戦が行われて、水沢、前沢、北上の県南勢3チームと滝沢南が29日の準決勝に進出した。



の水沢公園野球場、サンスポーツランド水沢の4

球場で行われた。29日は江刺中央運動公園野球場で準決勝、決勝が行われる。準決勝は第1試合が午前9時から、第2試合が11時から、決

勝は午後1時30分から予定されている。初日の結果と29日の組み合わせは次の通り。
【試合結果】▽1回戦
江刺一（不戦勝）千厩
滝沢南3-0宮城中田
北上3-1南都田若柳
江刺東9-3松尾、水沢
3-2矢巾北、赤崎2-1戸、前沢（不戦勝）
遠野東、高田東8-0（5回コールド）豊里▽
2回戦▽滝沢南4-3江刺一、北上6-5江刺東、水沢3-0赤崎、前沢5-3（特別延長）高田東

【29日の組み合わせ】
▽準決勝第1試合▽滝沢南-北上▽同第2試合▽水沢-前沢

北上が優勝

プロOBクラブ
中学生野球

日本プロ野球OBクラブ杯第4回県中学生野球大会（全国野球振興会主催）は最終日の29日、奥州市江刺区岩谷堂の江刺中央運動公園野球場で準決勝と決勝が行われた。県南勢の対戦となった決勝戦は、北上が7-6で水沢を下し優勝した。試合結果は次の通り。
▽準決勝 北上2-0滝沢南、水沢4-3前沢
▽決勝 北上7-6水沢

胆江日日新聞 TANKO NICHINICHI SHIMBUN 奥州 '15.4.30

水沢が準V

プロ野球OB杯
県中学野球大会

日本プロ野球OBクラブ杯県中学生野球大会の準決勝、決勝は29日、江刺区の江刺中央運動公園野球場で行われ、決勝で水沢が北上に敗れ、優勝を逃した。

29日の試合結果は次の通り。
【江刺中央運動公園野球場】
▽準決勝
北上2-0滝沢南
水沢4-3前沢
▽決勝
北上7-6水沢

県中学生野球、北上初V 奥州で大会



初優勝した北上の選手たち

日本プロ野球OBクラブ主催の第4回県中学生野球大会は26、29の2日間、奥州市江刺区の江刺中央運動公園球場を主会場に行われ、北上が初優勝した。県南地域を中心に全県から21校が出場。14校によるトーナメントと、リーグの交流試合を行った。北上は29日の決勝で水沢と対戦し、延長の末、7-6で激戦を制した。3位は滝沢南と前沢だった。北上の菊池大樹主将（3年）は「延長は思い切りやることだけ考えた。みんなでつなぐ全員野球ができた」と喜びをかみしめた。同クラブの吉田克郎県代表幹事は「素晴らしいプレーが随所にあがり、レベルがかなり上がっている」と出場校をたたえた。

日本プロ野球OBクラブ主催の第4回県中学生野球大会は26、29の2日間、奥州市江刺区の江刺中央運動公園球場を主会場に行われ、北上が初優勝した。県南地域を中心に全県から21校が出場。14校によるトーナメントと、リーグの交流試合を行った。北上は29日の決勝で水沢と対戦し、延長の末、7-6で激戦を制した。3位は滝沢南と前沢だった。北上の菊池大樹主将